



フードファクトリー フードディストリビューション

NEWS Vol.2

発行元:フードファクトリー事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内
TEL(F):03-3503-7807 TEL(FD):03-3503-7623
E-mail:office@f-sys.info
http://www.f-sys.info

食品物流・工場設備の専門展、最終出展募集中!

製造から物流まで、施設・業務改善を訴求する企業が集結!

本年9月26日(水)から28日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて「食品工場の設備改善」の専門展「フードファクトリー2018」、「食品物流」にフォーカスしたフードディストリビューション2018がそれぞれ開催される。食品業界に特化した本展には、業界への販路拡大や新規参入をねらい、出展申込が殺到。時宜を得たテーマをもとに、最新の機器・設備・サービス情報を発信する。申込締切りが近づく現在も出展に関する問い合わせや申し込みが相次いでいることから、事務局では受け入れ期間をできる限り延長する構えだ。



フードファクトリー

設備改善・省エネルギー

対策進む

過去最大の展示規模が見込まれるフードファクトリーは、来場者が年々増加している。「既存の設備を改修して作業の効率化を図りたい」「省エネ機器を導入してランニングコストを下げたい」など、食品製造現場からのリクエストもより具体的になっている。そのような中、本年の出展企業で目立つのが「省エネ」の提案だ。

特に、空調・冷熱分野での新規出展が増大した。ダイキン工業は結露対策をはじめ、省エネを含めた施設のトータルソリューションを訴求し、食品工場や物流倉庫とのパイプ構築をねらう。川重冷熱工業は小型貫流ボイラの実演、木村工機は除湿・除塵などにより食品製造現場の空調管理を提案する。継続出展となる大洋アレスコは冷蔵庫の省エネ化が可能な中央監視システムを出展予定。そのほかアメフレックが省エネコントローラ、ナンバがフロン漏えい検



知システムなどの展示を通じ、食品製造現場の「エネルギー効率化」を目指す。

排水分野では、ウエルシィが地下水膜ろ過システムで水道費削減を提案。ダイキアクシスや松尾機器産業も、食品業界でのシェア拡大をねらい自社の優位性を示したいとしている。そのほかミラクル、たけでんが暑さ対策として遮熱塗料を、FSPが高断熱パネルシステムを展示。コスト削減を求める食品企業にとって省エネにつながる多様な製品・システム・サービスに、来場者の注目が集まることと予想される。

自動化・省力化にも

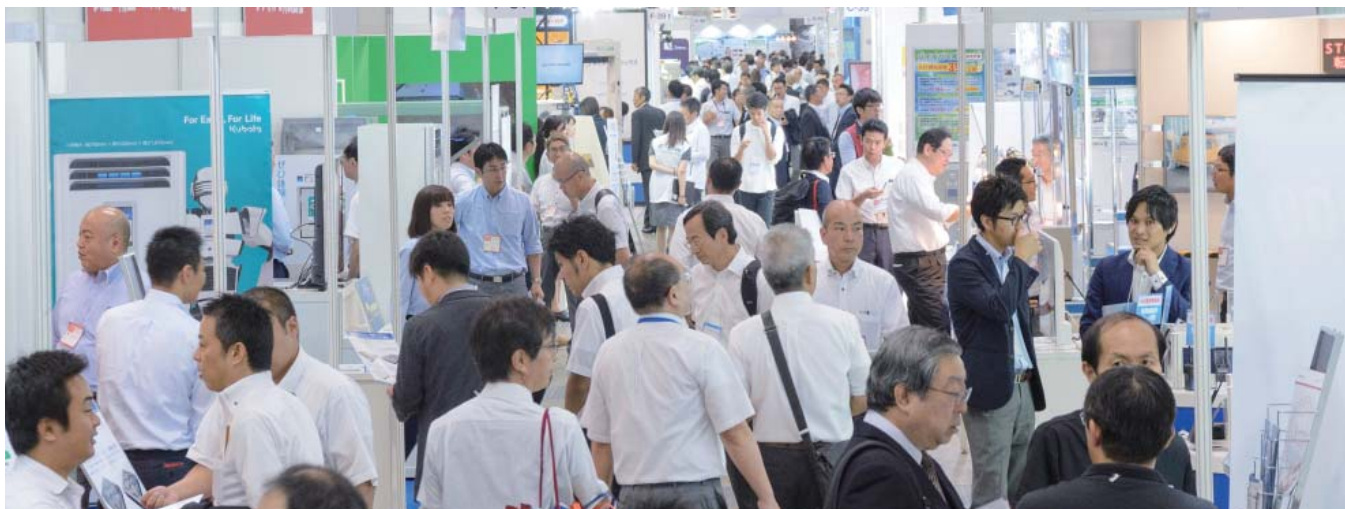
技術革新

食品製造現場は深刻な人手不足が続いている。本展でもユーザーの声に比例し、自動化・省力化を提案する出展企業が着実に増えている。「想定以上の引き合いがあった」と話すマツダエースは、前回から大幅に展示スペースを拡大。包装ラインにおける自動化・省力化をすすめ、食品工場・物流倉庫への参入を高める。新規出展ではダイヘンが人手作業の自動化を提案するほか、カンタムエレクトロニクスが食品業界向け協働ロボットの実機展示を行う。また、システムインテグレーションの日本電技も出展を決定。ロボットメーカーとともに食品工場の新規開拓を図りたいとしている。課題を抱えた食品エンドユーザーとの接触機会を求め、ロボット分野の展示規模はますますの拡大が見込まれている。

生産性向上へ

幅広い提案が集結

横河ソリューションサービスは、設備のIoT化による予兆保全で来場者にアプローチ。「昨年は新工場建設を目的としたブース訪問が著しく増えた」と、本年も早々に出展を決めた。新規出展となるアスプローバは、生産管理システムによる稼働効率の改善を訴求。こうした生産性向上につながるシステムメーカーの出展も増えてきた。包装分野ではクイック・ロック・ジャパンが初出展。自動結束機による包装ラインの効率化を提案し、裾野の広い食品業界へさらなる認知度向上をねらう。ほかにも移動棚や折りたたみ式の台車など、現場の生産性向上につながるソリューションが多数集結。情報発信に厚みを増したことで、本年のFFは展示規模・内容とも大幅に拡充する。



フードディストリビューション

食品物流に特化

有益な商談の場

フードディストリビューション(FFD)の強みは、製造・物流現場での課題を抱えた食品エンドユーザーにフォーカスした専門展であること。ターゲットが明確なため、食品業界への新規参入や深耕をねらう企業にとって質の高いビジネスチャンスとなる。昨年の出展者からは、「新規の食品エンドユーザーと多数コンタクトでき、期待以上の成果を得た」と評価も高く、2回目の開催に期待は高まっている。

出展者に新たな顔ぶれ

作業環境改善に商機

人手不足対策や業務効率化が急務となる中、食品物流の現場でも課題が尽きない。IHI物流産業システムは昨年につづき、省力化につながるマテハンを提案。アイコクアルファのハンドクレーンやオムロンロボットのストレーナーなども、現場作業からの注目を集めそう。物流に欠かせない搬送分野では、コンベアを扱うオークラ輸送機が新たに出展を決定。加えて、大和ハウス工業の継続出展に併せ、GROUNDが自動

物流不動産・3PLの

出展者増す

食品物流の効率化をテーマとした本展には、「物流コストを下げたい」「新たに物流拠点を備え、効率化を図りたい」といった経営層・管理担当者の来場比率も高い。好調の物流不動産分野では、出展者から軒並み高評価を得た。大和ハウス工業、プロロジス、日本GLP、シリアルイーなどの継続出展に、グッドマンジャパン、ディールエージェンツが新たに加わる。物流業を担う3PLからは、キユーソー流通システムや丸和運輸機関も出展を決めた。各社、食品エンドユーザーとの交流促進・認知度向上をねらう。

残りスペースあとわずか

5月下旬でも事務局には出展申込や問い合わせが押し寄せている。事務局では、「スペースに限りがあるため、少しでも早く連絡して欲しい」としている。出展に関心のある方は事務局まで。

出展者速報は中面

搬送ロボット、Hacobuがクラウド型物流システムを出展する。出展各社とも、本展を食品エンドユーザーとの貴重な交流機会とし、今後の引き合い増加につなげたいとしている。

温度管理や日付管理など、特徴的な食品業界。取り組むべき課題が多いだけに、食品を注力分野と位置づける企業は増加傾向にある。東芝デジタルソリューションズやオリエント商事は、輸配送時の温度管理ソリューションを提案。富士電機は保冷コンテナなどを展示し、食品業界ならではの課題に対応したいとしている。リードタイムが短い食品業界にとって、配送の遅れは死活問題。継続出展のコムアソートに加え、富士通、トランコムITS、ライナロジクスなど、トラックや運搬者不足の解消に向けたTMS(輸配送管理システム)を提案する企業も注目だ。

出展予定企業・団体一覧

5月28日現在

ア	カ	ショーワグローブ	WHIRL-PAK	富士通
アースエンジニアリング関西	ガードナー	清栄コンピュータ	ナンバ	富士通アドバンストエンジニアリング
アイ・アール・システム	カウゼル	シンクピア・ジャパン	日伝	フジマック
IHI エスキューブ	カシオテクノ	新日本厨機	ニチワ電機	フマキラー
IHI 回転機械エンジニアリング	カセン産業	スターライト工業	日建リース工業	古郡建設
IHI 物流産業システム	片岡製作所	住ベテクノプラスチック	日清エンジニアリング	プロロジス
アイコクアルファ	川重冷熱工業	スリーエムジャパン	日進ゴム	ホシザキ
IDEC ファクトリーソリューションズ	環境機器	スリーライン	日東	北海道
AIHO	カンタムエレクトロニクス	ゼニス羽田	日東金属工業	本庄厨房機器製作所
アオスフィールド	キクロン	セントラルコンベヤー	日本製粉	本田技研工業
青森県商工労働部産業立地推進課	北沢産業	双立	日本ハム中央研究所	マ
青森中核工業団地企業立地推進協議会	キッコーマンバイオケミファ	染めQテクノロジー	日本イトミック	マイコック産業
アクアシステム	紀文フレッシュシステム	SOMPO ケア	日本エヌ・シー・エイチナショナルケムサーチ事業部	マイセンファインフード
アクシー	木村工機	タ	日本エレクトロヒートセンター	前田シェルサービス
A X I S	キューソー流通システム	第一包装機製作所	日本ガイシ	マスターマインド
旭化成ホームプロダクツ	キュービー	ダイエイハービス	日本規格協会	松尾機器産業
アステックペイントジャパン	協栄産業	タイガーカワシマ	日本検査キューエイ	マックス
アストラ	KyoDo	ダイキアクシス	日本シーム	マツダエース
アスプローバ	キョーワクリーン	ダイキン工業	日本調理機	松本日光舎
アトム	極東貿易	大幸薬品	日本電技	マブチ・エスアンドティー
アビー	クイック・ロック・ジャパン	大成ラミック	日本パレットレンタル	マルゼン
アムールハウス	クイジナート	ダイヘン	日本マグネティックス	丸八
アムテック	クオドラントポリペンコジャパン	タイムマシーン	ハ	丸和通運
アメフレック	グッドマンジャパン	大洋アレスコ	ハイテック	丸和運輸機関
アラム	国立	台和	白洋舎	三浦工業
アルファクス・フード・システム	熊本製粉	大和ハウス工業	Hacobu	ミツイワ
アンリツインフィビス	GROUND	タカギ冷機	橋本ブラシ製作所	三菱ケミカルインフラテック
E プラン	クレオ	高砂	長谷川化学工業	ミドリ安全
イカリ消毒	クローバー	高橋金属	パナ・ケミカル	ミラクール
イグアス	日本 GLP	タカヤ	原田産業	ミラック光学
池田補聴器	KE・OS マシナリー	たけでん	ハリマビステム	ムラコシ
石井	KDA	ダック	パンドウイトコーポレーション日本支社	名三工業
イシダ	神戸市	田中機工	ビーエステー	モレーンコーポレーション
イシダ厨機	コーレンス	タニコー	BML フード・サイエンス	ヤ
イトヤ	コニカミノルタジャパン	タマチュウ	微酸研	ヤナギヤ
イノベックス	COPAN	ダンロップホームプロダクツ	ビジョンバイオ	山本ビニター
インソート	コムアソート	中央設備エンジニアリング	日立情報通信エンジニアリング	ユニテール
ウェルシィ	コメットカトウ	中部コーポレーション	日立造船	UnifillerJapan
A-Safe	サ	中部テクノ	日立プラントサービス	ユリシーズ
AI エンジニアリング	札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会	張家港博来河ゴムプラスチック製品	ビッグホワイ	横河ソリューションサービス
エー・エム・プロダクツ	サムソン	津山市役所	ピュアソン	ラ
エージーピー	サムテック・イノベーションズ	鶴見製作所	飛留間商会	ラスカム
エースシステム	三協エアテック	ティ・アイ・エス	ファクトリー・クリーンシステム	流通システム開発センター
エーディエフ	三共空調	ティーエムエルデ	ファスマック	Luci
エービーシー商会	三信化工	ディールエージェント	福井クラフト	レフォルモ
エクシール	サンステーションシステムズ	テストー	福島県伊達市	ワ
エステートレーディング	サンニック	デナリ	福島工業	ワークソリューション
NEC ファシリティーズ	サン・プランニング・システムズ	寺岡精工	富士化工	若泉漆器
NEC フィールドディング	三立機器	テラダ・トレーディング	フジ技研工業	ワコウ
FSP	サンロード	佳澤科技	フジキン	ワコン
エフピコ	三和建设	東京技術研究所	不二 WPC	
エムテートリマツ	三和厨理工業	東京サラヤ	富士電機	(50音順。共同出展、一部検討企業含む)
エムラ販売	シーアールイー	東京パック		
エリジオン	シーアンドエス	東芝デジタルソリューションズ		
エレクター	ジーエス環境システム	東洋化学		
オオイ金属	シーガル	トビー・テクノロジー		
オークラ輸送機	CKD	トミー精工		
大阪府立大学	Catering&DeliveryServiceAssociation	トランコム ITS		
Automagi	シーメンヘルスケア・ダイアグノスティクス	ドリマックス		
大道産業	JFE テクノリサーチ	トルネックス		
おぎそ	ジェット	ナ		
オムロン	柴田科学	中井機械工業		
オムロンフィールドエンジニアリング	シモン	中島工業		
オリエント商事	ジュークアンリミテッド	中西製作所		

